

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画 (中間)・最終)

川尻中学校区 校番 18 学校名 呉市立川尻中学校

a 学校教育目標	郷土を愛し、 自立する子どもを育てる ～挨拶とボランティア、 夢や目標への挑戦～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) ○大きな志をもち、地域に貢献する人材を育てる。 <ビジョン>(将来の学校像) ○つながり高め合う小中一貫教育を推進し、将来、幸せに暮らしていくために必要な学力と社会性を身に付けた児童生徒を育てる学校を目指す。
----------	---	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	・「タブレットの効果的な活用と生徒指導の三機能を生かした授業づくり表」をもとに、教科等の本質に迫る「考える授業づくり」を推進する。 ・基礎学力の定着を図り、授業改善を通して、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ・挨拶・朝読書・無言清掃を全校で取り組み、落ち着いた学校生活を確立する。 ・ボランティア活動を推進し、学校や地域との愛着を深め、貢献する生徒を育成する。 ・時間外勤務時間を45時間未満にする。
------------------------------	--

育成を目指す 資質・能力	「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「自立・郷土愛」
-----------------	--------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・(2)・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	① 基礎学力の定着を図る。	○主体的な学びへの授業改善	○「川尻中学校区授業モデル」の定着を図る。	・生徒の主体的な思考を促し高めるために、本質的な問い(身につけさせたい力を付けるための発問等)の工夫を行った教員の割合	80%	81.8%	102%	A			
			○『タブレットの効果的な活用と生徒指導の三機能を生かした授業づくり』の実施	・タブレット等のICT機器を効果的に利用し、生徒がわかりやすい授業を仕組んだ教員の割合	80%	100%	125%	A			
		○家庭学習の習慣化	○川中タイム(学力補充)を充実させ基礎学力の定着を図る。	・宿題の提出率	95%	89.2%	94%	B			
				・中間期末テストで5教科30点未満の生徒の割合	15%以下	12.6%	119%	A			
** 豊かな心	② 自己指導能力を育成する。	○生活規律・学習規律の定着<自律>	・授業と部活での挨拶指導	・授業はじめに4動作の挨拶をする生徒の割合	90%	95.2%	106%	A			
			○夢や目標への挑戦	・夢や目標に向かって頑張らせる指導	・将来の夢や目標を持っている生徒の割合	90%	77.4%	86%	B		
		○自尊感情の向上<貢献>	・生徒会と連携したボランティア活動の充実	・ボランティア活動参加生徒の割合	90%	42.5%	47.2%	D			
			○防災の意識を高める	・関係機関や地域との協働活動を通して対応能力を高める。	・災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している生徒の割合	80%	80.5%	100%	A		
* たくましい体	③ 健康的な生活習慣の確立と体力向上を図る。	○体力の向上	・体育授業・運動部活動の活性化	・運動やスポーツが好きな生徒の割合	80%	80.8%	101%	A			
			○食育の推進	・給食配膳時間短縮による十分な食事時間の確保	・12時50分までに給食準備完了した日の割合	90%	93.3%	104%	A		
業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	○生徒と向き合う時間の確保	・組織的な生徒指導等の充実	・生徒指導対策会議や教育相談等により、生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	90%	84.6% (11/13)	94%	B			
			○長時間勤務の削減	・週1回の定時退校の徹底 ・部活休養日の定着	・時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	70%	83.3% (16/96)	119%	A		

[k:評価]
 A: 100 ≦ (目標達成) < 100
 B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≦ (もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60

